

憲法が息づく 札幌へ!

議会報告

安政法制＝戦争法につづいてTPP関連法、年金カット法、カジノ推進法を強行し、介護・医療・福祉を切り捨てる安倍政権の暴走に不安が広がっています。

憲法は、“戦争の放棄”とともに国は社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上に努めなければならない(第25条)と定めています。

この憲法が息づく札幌へ、ともに力を合わせましょう。

日本共産党

札幌市議会議員

伊藤 りち子

札幌市議会第3回及び第4回定例会で、日本共産党札幌市議団が行った活動と論戦を紹介します。

秋元市長の政治姿勢ただす

憲法
改正

9条を捨て「国防軍」を明記
——自民改憲案の認識ただす

憲法9条の「戦力の不保持」「交戦権の否認」を削除し、「国防軍」の保持を明記する自民党改憲案。

“戦争の放棄”を掲げる憲法を捨て去るようなことがあってはならないとただしたのに対し、秋元克広市長は「(改憲の)必要性や内容について慎重かつ十分な国民的議論が必要」とのべ、改憲案を否定しませんでした。



(左から) 村上、池田、伊藤、小形、田中、太田、平岡の各議員

南スー
ダン

派遣の前提は崩れている
——非軍事の人道支援に転換を

「駆け付け警護」などの新任務の付与で、戦後初めて「戦死者」をだしかねない南スーダンへの自衛隊派遣。

国連も、内戦状態で「和平合意」は崩壊したと断定するなど、派遣の前提が崩れていることは明白です。これに対し、市長は、「政府は『PKO参加5原則』を満たしているとの判断」だと、容認する姿勢を示しました。



秋元市長に要望書を手渡す伊藤団長

高すぎる国保料の引き下げを

——秋元市長に95項目の要望

「2017年度予算に関する要望」を秋元市長に提出しました。高すぎる国保料の引き下げ、入学準備金の入学前支給を小学生にも行うなど、介護、医療、福祉、子育て支援など95項目を要望しました。

日本共産党
札幌市議団

市政だより

2017年2・3月号

発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>

日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。